

教科(科目)	世界史B	単位数(時数)	4単位(148)	学年(科)	1学年(国際文化科)
使用教科書	・山川出版社『詳説世界史B』				
副教材等	・第一学習社『グローバルワイド最新世界史図説』		・山川出版社『世界史用語集』		

1. 学習目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2. 指導の重点

- ①授業に集中させる。本格的な世界の歴史を初めて学ぶ機会であり、ナビゲーター(教員)の説明を聞き漏らさせず、大切だと思ったことを各自にメモさせる。
- ②知識を定着させる重要な手段が、週末課題と小テストであることを意識させる。この2つに真剣に取り組ませ、短いスパンで確実な知識定着を図る。

3. 評価規準と評価方法

<評価の観点>

- ・世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。(関心・意欲・態度)
- ・世界の歴史から課題を見だし、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。(思考・判断・表現)
- ・世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。(資料活用の技能)
- ・世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)

<評価の方法>

- ・授業への取り組み方や授業態度、提出物の内容及び提出状況
- ・小テストの成績
- ・定期考査の成績

4. 学習アドバイス

- ①世界史は復習重視の科目である。授業後すぐにノート・プリントの見直しや要点ノート・資料集を使った復習を行うと効果的である。そのためには何よりも授業への集中が大前提である。
- ②新聞やニュースは世界史ネタの宝庫である。世界の今に興味をもち、その背景を考えることが、日々の授業への関心を高め、知識を増やすことにつながる。

(担当：南雲 郁絵)

月	単元・考査等	時数	主要学習領域	学習活動（指導内容）
4	序章 先史の世界 第1章 オリエン トと地中海世界 第2章 アジア・ア メリカの古代文明	1 2	・文明の誕生 ・古代オリエン ト世界 ・インド・東南アジア 古典文明 ・中国古典文明 ・アメリカの古代文明	・人類の進化や文明誕生の道のりを理解する。 ・オリエン ト世界の古代国家の成立と特徴を、因果関係 を踏まえて理解する。 ・古代ローマ世界の歴史を、因果関係を踏まえて理解す る。 ・アジア各世界地域の形成過程、アメリカ古代文明を理 解する。
5	第3章 内陸アジア ・東アジア世界の形 成 ※前期中間考査	1 2	・北方民族の活動と中 国の分裂 ・東アジア文化圏の形 成	・東アジアにおける北方遊牧民族の動向と、中国の分裂 と動乱の時代を理解する。 ・隋唐帝国の国家制度や文化、日本を含む東アジア世界 諸国の国家体制の整備やその動向を理解する。
6	第4章 イスラーム 世界の形成と発展 第5章 ヨーロッパ 世界の形成と発展	1 3	・イスラーム世界の形成 と発展 ・ヨーロッパ世界の成立 ・中世世界の変容と文化	・イスラーム教の成立と伝播の歴史、各地のイスラーム 王朝と文明の特徴を理解する。 ・ヨーロッパ世界の形成について、その経緯を理解する。 ・西欧中世の変容過程、西欧中世文化の特徴を理解する。
7	第6章 内陸アジア 世界・東アジア世界 の展開 第7章 アジア諸地 域の繁栄	1 2	・アジア諸地域の自 立化とモンゴル帝国 ・明清と東アジア ・トルコ・イラン・ インド世界の展開	・遊牧諸勢力の台頭やモンゴル帝国の興亡と、その影響 の大きさを理解する。 ・明・清朝の動向と、東アジア世界の状況を理解する。 ・トルコ・イラン・インド世界に誕生したイスラーム帝 国の動向とその社会や文化の特質を理解する。
8	第8章 近世ヨーロ ッパの形成 ※前期期末考査	1 1	・ヨーロッパ世界の拡大 ・ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパ諸国の抗争 と主権国家体制の形成	・ヨーロッパ世界の拡大とアメリカ大陸の征服、それに 伴うヨーロッパ社会の変革の動きを理解する。 ・ルネサンスの内容と意義、宗教改革の理念について理 解する。 ・主権国家体制の特色と、欧州諸国の動向を理解する。
9	第9章 近世ヨーロ ッパ世界の展開 第10章 近代ヨーロ ッパ ・アメリカ世界の成立	1 3	・ヨーロッパ諸国の 海外進出 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命	・ヨーロッパ主権国家諸国の動向と植民地争奪、大西洋 世界の三角貿易のもたらした国際的枠組みを理解する。 ・アメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治に与 えた影響を理解する。
10	第11章 欧米におけ る近代国民国家の発 展	1 3	・ウィーン体制の成立 ・ヨーロッパの再編と新 統一国家の誕生	・ヨーロッパ諸国の自由主義と国民国家形成の過程を理 解する。 ・国際秩序の動揺と再編、米大陸の動きを理解する。
11	第12章 アジア諸地 域の動揺	1 3	・オスマン帝国支配の動 揺と西アジア地域の変容 ・南アジア・東南アジア の植民地化 ・東アジアの激動	・オスマン帝国支配の動揺と改革、アラブ諸民族の覚醒、 イラン・アフガニスタンの動向を理解する。 ・インド・東南アジア諸国の植民地化の過程を理解する。 ・ヨーロッパ諸国の干渉と日本の台頭による東アジア国 際秩序の再編を理解する。
12	第13章 帝国主義と アジアの民族運動 ※後期中間考査	1 3	・帝国主義と列強の 展開 ・アジア諸国の改革 と民族運動	・帝国主義の特質と、帝国主義時代における欧米列強諸 国の国家・社会の変化を理解する。 ・欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動 の形成を理解する。
1	第14章 二つの世界 大戦	1 3	・第一次世界大戦 ・戦間期の世界 ・第二次世界大戦	・第一次世界大戦とその後の国際秩序の変動について理 解する。 ・第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大、米ソの 国際的地位の高まりを理解する。
2	第15章 冷戦と第三 世界の独立 第16章 現在の世界	1 2	・戦後世界秩序の形 成とアジアの独立 ・米ソ冷戦の激化 ・社会主義世界の変 容 ・地域紛争の激化と 深刻化する貧困 ・現代文明の諸特徴	・第二次世界大戦後、米・ソを中心とした冷戦体制が成 立し、東西両陣営に世界が分裂したことを理解する。 ・米・ソの両大国の動揺と国際的な影響力の減退、その 後の東欧社会主義圏の消滅とグローバル経済の進展を 理解する。 ・世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争、紛 争解決や軍縮の試みを理解する。 ・科学技術の発達と現代文明の抱える危機、現代思想や 文化の特徴について理解する。
3	主題学習 ※後期期末考査	1 1	・資料を活用して探究す る地球世界の課題	・地球世界の課題に関する主題を設定し、選択 したその時代の資料を活用して探求し、表現す る技能を学ぶ。

計148時間（48分授業）